



祇園祭 (7月最終週の木曜日から4日間)

玉のような汗を飛ばす男衆の大神輿。
若き女性の肩にゆられる姫神輿。
筑西最大の夏の風物詩「祇園まつり」の
迫力とエネルギーは圧巻です。



今 週のプログラム

ク ラ ブ 協 議 会

次週のプログラム

11月29日 休 会

12月6日 総会・木幡会員卓話



会長/永盛 武 副会長/加藤昌美 幹事/中里泰久 会長エレクト/永井啓一
クラブ会報・広報・雑誌・記録委員会 委員長/神山芳子 副委員長/菊池祥明・木幡 浩・堀江 勤

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2813回 2017/11/15(水)

お客様 ようこそ下館R Cへ

菊池 敏 様(米山記念奨学会総括委員長)

吉原 葵 様(下館ローターアクト直前会長)

会長挨拶 永盛 武会長

本日卓話を頂く方は、米山記念奨学会 地区総括委員長菊池敏様です。宜しくご指導お願い申し上げます。

会長(トップ)の大切な仕事の1つは、言うまでもなく後任を決めることであります。特にこの度のノミネー選出は下館R C60周年の会長でもありますので、大切な人事であります。見方を変えればその方は歴史に残り、遣り甲斐のある会長職かも知れません。その方とは、先の選考委員会(5人)において満場一致で推薦された岩崎君であり、御本人に了解をもらうべく加藤副会長には大変お世話様になりました。御本人に快諾を戴き先(8日)の理事会において承認されました。この後は12月の総会に会員皆さまの承認を得る段取りになりました。仄聞しますと過去の選考委員会において満場一致はほとんどなかったと聞いておりますから、その人望と期待度の大きさがうかがえます。

それにいたしましても現在、周年事業の積立金が約120万円程度ですから、ご案内のとおり今年是一般会計予算の10%を周年事業の積立金として計画しましたが、予算以外の出費を抑え、少しでも多く積立金にまわして行きたいと考えております。来年からでも事業規模・内容について検討して行く必要があるものと思います。その裏腹の問題として、当クラブの会計処理についてお話しさせていただきます。といいますのも会長・幹事或いは会計経験者でないとはわかんないと思いますが、当クラブには現在数通の預金通帳がございます。何のために通帳が必要か。一つの理由としては継続性のある活動(事業)である場合であります。当クラブの会計は大別しますと一般会計と特別会計の二本立てであります。

特別会計の中に周年事業積立金・財団・米山・スマイル BOX(所謂プロジェクト委員会の活動資金はここから捻出され、規約上奉仕活動資金

目的ですから一般会計に繰り入れることは不適切である)等があるわけです。従って、一般会計からスマイルBOX会計に繰り入れることが有ってもその逆は有りえない筈です。(過去には有ったようです)

結論から言えば、預金通帳は一般会計・周年事業積立金・財団・米山・スマイル BOXの5種類の通帳で充分管理できる筈です。この件につきましては幸い3人の専門家がおりますので、今後相談し整理していきたいと考えております。尚、当クラブは言うまでもなく単年度会計ですから基本的には予算は使い切って充実した活動をした方が良いと考えます。御意見をいただければ幸いです。

一日一言 人物の根本② 安岡正篤著

一体、万有一切、光といい、熱といい、あるいは電気といい、磁気といい、すべてはエネルギーの活動であり、変化です。エネルギーが旺盛でなければ神羅万象もない。われわれ根本において生命力が旺盛でなければ、迫力がなければ、活力気魄といものがなければ、善も悪もない。是も非もない。活力、気魄を旺盛にする。これが一番大事である。

幹事報告 中里泰久幹事

○高梁ロータリークラブより創立 45 周年記念式典参加の礼状が届いております。

吉原葵下館R A C直前会長挨拶



昨年の地区大会へのご協力ありがとうございました。本年は古河クラブが担当ですが、今年もこのダイヤモンドホールで開催いたしますことになりましたので、引き続きご協力賜りたくお伺い致しました。宜しくお願い申し上げます。

日時 2017年12月16日(土)PM2:00

会場 ダイヤモンドホール



卓 話

菊池敏米山記念奨学会総括委員長



『ロータリー米山記念奨学事業について』

皆さん、こんにちは。今年度も地区米山記念奨学会総括委員長を仰せつかりました水戸東RCの菊池でございます。本日は貴重なお時間を頂戴し“米山記念奨学事業”についてご説明をしたいと思っております。今更“米山”について知っている会員も多いと思っておりますが、更に理解をして頂きご協力を賜りたくお願い申し上げます。

私は総括委員長を引き継いで3年目を迎えました。そして、次年度はクラブ会長の予定ですので、今年度最後の卓話をさせて頂く事ができとても光栄に思います。

地区委員になった当時は米山に関して何も分からず、いま多くの方々が言っているような事を理由に自クラブでも寄付をしていませんでした。しかし、少しずつ独学ですが勉強をし、奨学生や学友のメンバーと接しこの米山記念奨学事業が楽しくなり、大好きな事業になったと言っても過言では無いと思っております。

さて、今年度は準世話クラブとして米山記念奨学生『張 資涵さん』は何度か例会に出席されておりますか？そして皆様とのコミュニケーションは如何でしょうか？

我々地区委員も非常に彼女の優れたコミュニケーション等で、他の奨学生のリーダー的存在となり他の学生をリードしてもらっております、このような『人』を育てて頂いた世話クラブ(しもだて紫水RC)を始め準世話クラブの下館RCの会員の方々に感謝いたします。

東京RCが米山基金の構想を発表し、アジアから優秀な学生を招いて学費を援助し『二度と

戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい』というものでした。この題目にも書いてございますが、米山記念奨学会の目指すところは「日本と世界を結ぶ人づくり」なのです。

1954年タイから第1号奨学生としてソム・チャードさんが来日し、翌年には日本で学ぶインド出身のイーベンさんが選ばれ、彼らは日本全国のクラブに呼ばれ、各地で手厚い歓待を受けました、これが世話クラブの始まりだったと考えられます。

2016-17年度、普通寄付金と特別寄付金を足した寄付金総額は13億7,305万円で、前年度から約2億円の減少となりました。減少の要因は、前年度に複数あった超大口寄付が昨年はないこと、また、昨年度から、一部の法人寄付が有価証券を受領しての「配当金」となり、取扱いが寄付金ではなくなったことがあげられます。減少幅は大きいものの、予算額の13億3,000万円は達成しており、約1億円の黒字が出ています。米山では、寄付金はすべて奨学事業に使用するのが原則ですので、来年2018年度の採用枠は820人(前年度+40人)とし、今後も状況に応じて奨学生を増やします。

一方、超低金利政策により「資産運用益」が年々減少し、利子で「管理費」を賄うことが困難となっていることが課題です。

地区内での状況を発表いたします。

米山への寄付金は大きく分けて2種類あります。クラブが決めた金額を会員数分送金する「普通寄付金」は、全国平均が4,784円に対し、当地区は5,009円でした。また、個人・法人・クラブからの任意の寄付、「特別寄付金」は、全国平均が10,651円、当地区は19,289円でした。先ほどの“個人平均寄付額”は、この普通寄付と特別寄付を合わせた金額です。

次に下館RCの寄付状況です。

普通寄付は5,000円です。ちょっと数字が違うのでは？と思う方もいらっしゃると思いますが6月30日現在と書いてありますが、クラブ会員数は1月1日現在の数で計算する為、若干の誤差が生じてしまいます。

また、任意の寄付「特別寄付金」は、地区平均が19,289円に対し下館RCは7,500円です。



寄付者割合は68.7%の方々から1万円強のご寄付でしょうか？保延ガバナーからも地区目標額が提示されております。さらなるご理解ご協力を申し上げます。

米山への寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。例えば、課税所得が750万円の方が、10万円寄付した場合、税額控除の場合は3万9,200円も所得税が還付されます。特別寄付金だけでなく、普通寄付金も、申請をすれば領収書が出ます。すべての領収書を合算して、年間2,000円以上の寄付でメリットがあります。法人の特別寄付についても、法人税が軽減されます。同じ寄付をするなら、所得税や法人税が軽くなる米山へ、ぜひ、ご支援をお願い致します。

次に奨学生の状況です。一時期より減ったとはいえ、この事業規模は、外国人留学生に奨学金を出す民間団体では日本最大で、2017学年度は、全国で793人、累計で世界125の国・地域から19,808人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合は中国、韓国が多くなっていますが、近年ではベトナム・モンゴルの留学生が、以前に比べて急増しています。

今期の(2017.4～2018.3)地区内の奨学生は28名です。国別では中国11名、韓国5名、ベトナム4名、マレーシア2名、台湾・バングラデシュ・タイ・メキシコ・ブルガリア・ロシアが各1名です。学校別では筑波大学15名、茨城大学9名、流通経済大学3名、東京藝術大学1名、になります。

また、今年度は2年ぶりに世話クラブ・準世話クラブ制度を復活し、地区内の全クラブ例会へ奨学生が出席しております。章琳さんはつくば学園RCが準世話クラブとなっております。章琳さんの人柄で準世話クラブでも「米山記念奨学事業」の理解を深めて頂きたいと願っています。

米山奨学事業の唯一最大の財産はOB組織『米山学友』です。近年では米山学友会もどんどん増えています。

日本国内に33、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーと、9つの学友会があります。

次号へ続く

スマイルBOX 岩崎 晴男委員長

- ▶永盛 武さん 米山記念奨学会総括委員長、菊池敏様の来訪を記念して。
- ▶中里 泰久さん 米山記念奨学会総括委員長、菊池敏様ようこそいらっしゃいました。本日の卓話宜しく申し上げます。
- ▶永井 啓一さん 米山記念奨学会総括委員長、菊池敏様ようこそいらっしゃいました。宜しく申し上げます。
- ▶日向野 陽さん 地区米山奨学会総括委員長、菊池敏様の卓話楽しみにしています。
- ▶加藤 昌美さん 米山記念奨学委員会総括委員長、菊池敏様ようこそお出で下さいました。
- ▶関谷 徹さん 菊池米山地区総括委員長の来訪を記念して。
- ▶鈴木 光則さん 米山記念奨学委員会総括委員長、菊池敏様の来訪を記念して。
- ▶神山 芳子さん 2820地区米山記念奨学委員会菊池総括委員長の卓話を記念して。
- ▶鈴木 健一さん 米山奨学委員会総括委員長 菊池様、ようこそいらっしゃいました。
- ▶秋葉 浩一さん 米山記念奨学委員会、菊池様宜しく申し上げます。
- ▶木幡 浩さん 菊池委員長、ご指導宜しく申し上げます。
- ▶新井 和雄さん 国際ロータリー第2820地区米山奨学委員会、菊池総括委員長の来訪を記念して。
- ▶岩崎 晴男さん 菊池米山総括委員長ご苦労様です。
加藤昌美さんのご子息に同行して、高知・松山・宇和島に行ってお参りました。

本日の合計 13,000円
累計 494,000円

出席報告 鈴木光則委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
32	16	14	0	2